

中野睦子(なかのちかこ)



・山手在住
・議会運営委員会
・総務常任委員会
・議会報編集特別委員会
・洲本市・南あわじ市
衛生事務組合議会

令和2年度は、3つの常任委員会の中で総務常任委員会に所属。財政を担当する財務部、まちづくりや公共交通、ふるさと納税などを担当する企画情報部、総務全般、消防防災を担当する総務部を所管しています。そしてこの度初めて、会派の代表として議会運営委員を務めています。議会の運営はもちろん、議会改革に関すること、洲本市議会業務継続計画や、この度の新型コロナウイルス感染症をきっかけに、感染症に対する議会の行動指針なども話し合っています。

まだまだ勉強中ですが、緊張感と責任感を持って運営に臨んでいます。また、議会報編集特別委員として、市民の皆さまに読んでいただきやすい紙面作りに、さまざまなアイデアを出しています。7月15日発行の最新号からは待望のフルカラーで、表紙も一般の方からの公募で記念号を飾っていただきました。

議会では、市民の皆さまの声をいち早く反映すべく、毎回一般質問に立っています。また活動報告もFacebookやホームページで公開していますので、どうぞご覧ください。

笹田守(ささだまもる)



・五色町鮎原三野畑在住
・産業建設常任委員会

●令和2年3月定例会一般質問より

Q: 受援計画策定状況は。A: 本市においては兵庫県が作成した災害時応援受け入れガイドラインなどを参考に、令和2年度策定に取り組む。

Q: 本市の県文化財指定は。A: 白巢城跡、炬口城跡が本年3月に県文化財に指定された。Q: 広域的定住自立圏構想は。A: 本市が中心市宣言を行った平成24年10月1日当初は淡路市と本市のみだったが、平成30年10月に南あわじ市が参加し3市体制として3市協力している。

●令和2年6月定例会一般質問より

Q: 災害時の対応は。A: 対策本部、警戒本部は市長、副市長、教育長、部長級の職員、そして対応部局の職員の出席により構成されている。

Q: 中山間地域等直接支払制度は。A: 第5期対策では過疎地域法に基づくものが26集落、特認集落は5集落。Q: 深日洲本航路は。A: 令和2年3月30日にプレスリリースを行い、5月2日より運航開始に向けていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期。また、6月末に岬町と協議した結果、本年度は中止する事となった。

木戸隆一郎(きどりゅういちろう)



・大野在住
・教育民生常任委員会
・議会報編集特別委員会(副委員長)
・洲本市・南あわじ市
衛生事務組合議会

会派を代表して、市長及び教育長に対しての代表質問(30～2年の3回)や、若い世代の子育て世代として、子育て支援や将来を見据えた財政運営などに対し、質問や提案をしました。

主なものは、電子母子健康手帳やアプリの活用、病後児保育、学校内での学童実施、子どもたちの遊ぶ場所の確保、学校開放、子育て支援の拠点施設の充実、経済的負担の軽減、幼保小中学校と地域の連携、AEDの運用などをはじめ、子育て・教育関係。都市計画マスタープラン、旧アルファビアのリノベーションや中心市街地の活性化などのまちづくり関係。持続可能な財政運営、公共施設等の再編や機能統合による効率化、オンライン申請による各種行政手続きの簡素化などの行財政改革。南海トラフ地震対策や業務継続計画、防災、減災対策、淡路島をひとつとらえた広域連携などについてなどです。

また、直近ではコロナ禍における教育・保育環境やオンライン授業の推進などを中心に質問しました。これからの対策や備えについても引き続き取り組んでまいります。

洲本市議会

こころざし
「志」会派報

令和2年10月吉日
(所属議員：小野章二・中野睦子・笹田守・木戸隆一郎) 第4号

ごあいさつ

～「志」会派報第4号発行にあたり～

いつもお世話になり、ありがとうございます。終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症による、新しい生活様式を実践している毎日です。市民の皆様にはコロナに負けず、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より、市政発展と議会運営に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、会派「志」として、市民の皆さまの負託と信頼にこたえるための活動として、二元代表制のもと、一般質問を積極的に実施。また勉強会・会派視察・予算編成に対する要望書の提出、情報発信のための会派報の発行などに取り組んできました。今後従来の取り組みだけでなく、コロナへの対応と人口減少・少子高齢化など、洲本市が直面する諸問題に対し、真摯に取り組んでまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、宜しく願申し上げます。

今号のトピックス ・市長への要望活動

要望が実現へ

新型コロナウイルス感染症対策に関する 緊急要望書を提出

毎年予算編成に際して要望書を提出していますが、この度新型コロナウイルス感染症により、深刻な影響を受けている市民及び事業者などへの救済として、4月30日に要望書にまとめ提出しました。

内容としては6分野21項目で、主な事項と結果は下記の通りです。

- ①新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算の早急な編成を
対応：5月～8月まで5回の補正予算を実施
- ②相談窓口の設置と積極的な情報提供を
対応：こころの相談として、洲本市健康増進課を窓口とするとともに、ホームページ・広報紙・CATVなどの媒体で情報を提供
- ③感染拡大防止を
対応：医療機関や高齢者福祉施設・保育園・幼稚園・学校などで使用するマスクや消毒アルコールなど衛生用品の確保
- ④生活環境支援について
対応：子育て世帯・生活困窮者・売上減少事業者などへの支援としての給付金を支給
給付金など支援策をまとめた、ハンドブックを発行
- ⑤経済支援について
対応：経営継続支援の給付
- ⑥教育支援について
対応：オンライン授業環境整備のため、小中学生にタブレット支給



【発行】 洲本市議会 会派「志」
住所 〒656-0054 洲本市宇原261番地6
電話番号・ファックス 0799-22-9752
メールアドレス sj-ono@sumoto.gr.jp (幹事長 小野章二)

議場及び会派室は本庁舎6階
〒656-8686 洲本市本町三丁目4番10号

● 緊急要望の各分野の概要

【予算編成】

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を速やかに編成すること
→補正予算　5月臨時会　　8 1 2、4 8 5千円
　　　　　6月定例会　　6 0、5 8 7千円、追加分8 4、5 8 0千円
　　　　　8月臨時会　　3 1 1、7 9 8千円
- 国・県事業については専決処分を行うなど事業を迅速に執行すること
→5月1日に4、4 4 4、4 2 3千円の専決処分実施
- 財源については、ふるさと洲本もっとも応援基金の活用や、今年度上半期分のイベントの中止などの見直しによる減額補正で柔軟に対応すること
→議会費減額、一般管理費の減額、教育委員会事務局費減額

【情報提供】

- 市民の皆さまの来庁に伴う感染リスクを考慮した上で、広範に対応可能な総合相談窓口、及び専用ダイヤルを設置するとともに、心や体、歯科などの健康相談窓口を強化すること
→代表電話で対応、窓口相談、感染症にかかるこころの相談
- ホームページをはじめ、広報紙やCATV、SNSなど、さまざまな媒体を活用し、本市の対策や対応、経過、見直しなどについて積極的な情報提供を行うこと
→ホームページ・CATV・告知端末・防災ネット・新聞記事・広報すもとなどの媒体を活用し、市民の皆さまへの広報を実施

【感染拡大防止】

- 医療機関や高齢者福祉施設、保育園、幼稚園、学校、学童保育などで使用するマスクや消毒アルコールなど衛生用品を確保すること
→高齢者、障がい者、医療機関へのマスク配布、高齢者及び障がい者へのマスクケース配布、感染症予防に備えた防護服、消毒用アルコール、マスク、非接触式体温計などの備蓄、市内民間認定こども園、認可外保育園へ、マスク及び消毒液などの配備のための補助金、非接触型体温計の配備、学校再開に伴う「3密」対策としての、サーキュレーター・空気清浄機、スポットクーラーの備品整備
- 観光客など、島内外からの来訪者が依然として多い状況であるため、来訪自粛のお願いを徹底すること
→市長メッセージとして、4月から8月7日まで16回発信、その中で自粛を要請
- 観光施設及びその施設などに隣接する市や指定管理施設などの駐車場を閉鎖すること
→島内海水浴場開設中止（大浜・炬口・新都志・五色県民サンビーチ）に伴う、駐車場の閉鎖を実施

【生活環境支援】

- 市独自の定額給付金を支給すること
→ふるさと洲本応援振興券の給付（全世帯15,000円分の本市独自の商品券、高校生以下の子どもがいる子育て世帯へは1世帯あたり10,000円分上乗せ）ふるさと洲本事業所応援給付金、認定農業者和牛肥育農家緊急支援事業、漁業者の事業継続支援
- 保育料及び給食費を減免すること
→保育料、放課後児童クラブ利用料の減免、小中学校の夏季休業期間短縮に伴う給食費無料
- 妊娠している方へ、マスクなどを支給すること
→妊婦へのマスク配布
- ひとり親世帯への児童扶養手当等を上乗せすること
→臨時特別給付金の給付、自立支援のための給付金
- 市税などの納入期限を延長すること
→国民年金保険料免除などの臨時特例手続き、個人住民税・固定資産税・地方法人税などの徴収猶予の特例制度・CATV施設使用料の徴収猶予・国税の申告期限延長・納税猶予制度

【教育支援】

- 児童虐待やDVを防止するため、支援施策及び相談窓口などの周知徹底をすること
→婦人相談員の配置
- オンライン授業への取り組みの推進及び、家庭でのインターネット環境整備のために、CATVとの連携などによる支援や補助、機器の貸し出しをすること
→GIGAスクール構想による端末の整備、家庭学習のための通信機器の整備

【経済対策】

- 国などの資金融資制度を補う支援制度を創設すること
→生活福祉資金貸付制度・豊かな海づくり資金利子補給制度
- 飲食店などの家賃補助制度及び宅配、テイクアウトに係る補助制度を創設すること
→経営継続支援金給付
- ふるさと納税の返礼品において、コロナによる売り上げ減少事業者などの商品の出品や、商品券などを創設すること
→「洲本の恵み」フードトラックパートナー事業・地域商業の活性化支援、洲本へいらっしやいキャンペーン事業、ビーチハウス店舗休業協力金

● 洲本市の独自の新型コロナウイルス感染症対策

令和2年度5月臨時会、6月定例会、7月・8月臨時会にて、多くの対策が提案、議決されました。また、特別職及び全議員に毎年6月に支給される夏季期末手当（ボーナス）は全額カットし、その一部を財源とした（＊印）コロナ対策も実施されました。

- | | |
|---------------|--|
| ・（6月、学校教育課） | ＊学校給食用配膳ワゴン配備561千円 |
| ・（6月、子ども子育て課） | ＊ひとり親世帯、児童1人につき5千円分の図書カード配布、2,613千円 |
| ・（6月、学校教育課） | ＊小中学校の夏季休業期間短縮に伴う給食費の無料化。17,787千円 |
| ・（6月、教育総務課） | ＊ICT環境が整っていない家庭での家庭学習を支援するためのモバイルルーターの整備、3,990千円（うち市単独継ぎ足し800千円） |
| ・（8月、健康増進課） | 淡路圏域外来・検査センターの設置支援（受付事務員報酬、3,032千円） |
| ・（8月、教育総務課） | 小中学校の換気対策のための校舎窓及び体育館校舎窓改修と、校舎空調設備更新、97,054千円 |
| ・（8月、企画課） | 新型コロナウイルスに負けない　がんばる学生等応援事業（親元を離れて暮らす本市出身の学生または域学連携事業など、本市と深い関係にある学生などに対して、本市の特産品などを提供し、学業の継続を応援することで郷土愛を深めるとともに、UIJターン及び関係人口の拡大を促進）、13,000千円 |
| ・（6・8月、消防防災課） | 避難所の感染症拡大防止として、段ボールパーテーション、段ボールベットの配備2,064千円、空調設備更新3,500千円、ワンタッチパーテーションなどの配備2,000千円 |

● 市政そこが聞きたい！各議員の一般質問など （委員会、役職は令和2年度のものです）

小野章二（おのしょうじ）



- ・宇原在住
- ・教育民生常任委員会（副委員長）
- ・南あわじ市・洲本市小中学校組合議会（副議長）

議員としての権利と義務を果たすべく、年4回開催される本会議には、毎回質問に立ちました。以下質問の一部をご紹介します。

Q:小中学校授業再開での新型コロナウイルス感染予防策について
A:「学校の新しい生活様式」に基づき、マスクの着用・手洗い・3密の回避・熱中症対策や心のケアにも対応している。

Q:つながり基金助成事業の、募集期間延長について
A:新型コロナウイルス感染症の影響で、応募出来なかった諸団体があり、本年救済対応として、補助対象の拡充と期限を9月4日に延長する。

Q:高齢者の方に優しい窓口業務の一元化について
A:窓口の在り方について、諸々考察し、サービスの向上に努める。

そのほか、南あわじ市・洲本市小中学校組合議会への出席と議案などの審議、教育民生常任委員会委員として、関係諸施設の視察。

また、人口減少と高齢化が進むまちなかに、賑わいを取り戻そうと立ち上ったグループに参画。まちの課題や未来のまちづくりを議論しています。